

平成 25 年度第 2 回仁淀川清流保全推進協議会 議事要旨

日時：平成 26 年 1 月 16 日（木）10:00 から 12:00

場所：いの町 かんぼの宿伊野 1 階 会議室

【欠席委員】西森委員、岡崎委員、杉本委員

【代理出席】安達委員の代理で国土交通省 高知河川国道事務所 高井事務所長が出席

【新任委員】井上委員

石川会長	本日は4年目最後の全体会。4年目ということは、これから今までやってきたことを振り返り、また、新しいことも考える節目の時期に差し掛かっている。皆さんの知恵を借りながら前進していきたい。 では、「議題1. 仁淀川清流保全推進協議会委員について」、福留副会長がご逝去されたので、副会長の選出させていただきたい。どなたか推薦がある方は。
中澤委員	仁淀川漁協の組合長、麻岡氏を推薦する。  (麻岡委員が副会長に就任することについて承認される)
麻岡副会長	委員も会長も立派であるので、一生懸命、仁淀川清流保全のために出来るだけ協力したい。
石川会長	それでは「議題2. 仁淀川一斉清掃の評価について」事務局より説明をお願いします。
事務局(高知県 環境共生課宮田)	<資料により説明>
近澤委員	河口に大きいゴミがあるそうだが、人力で撤去できるのか。
吉本委員	(河口の清掃会場は) 海岸に打ち上げられた大きいゴミは回収していないが、小さいゴミは観光客も来るので拾う。やろうと思えば河口はたくさんあるが、行政の力を借りないと大きなゴミは拾えない。シラス採捕について、漁協、国、県等で協議してルールを決めたが、採捕後の不始末が問題で、採捕終了後、国交省所管であるラブリバー仁淀川パートナーズシップ(構成14団体)で観光シーズン前の3月頃に清掃をしている。打ち上げられるゴミの問題はあるが、やることによって見違えるようにきれいになる。

## 平成 25 年度第 2 回仁淀川清流保全推進協議会 議事要旨

日時：平成 26 年 1 月 16 日（木）10:00 から 12:00

場所：いの町 かんぼの宿伊野 1 階 会議室

- |      |   |
|------|---|
| 石川会長 | 河口については非常にゴミが多く、清掃すれば効果はあるが、行政の力も借りなければならない部分もある。   |
| 井上委員 | 上流部会（仁淀川会場）は子どもの参加が少なかった。以前の部活動の顧問は部活動の前に清掃に参加させてくれていたが、顧問が代わり、参加が無くなった。親や教師の考えが変わらないといけない。子どもたちにもぜひ参加して欲しいので、今後も小中学校には声をかけていきたい。                 |
| 石川会長 | 子どもの参加を増やすべく流域の学校にチラシを配布したが、配布しただけでは効果が出なかった。部活動の顧問や P T A などの協力を得られないと子どもの参加は難しい。今後工夫が必要。  |
| 吉本委員 | 今年初めて土佐市の「光の村」の教職員、生徒合わせて 20 人くらいが学年単位で参加してくれた。広報を見て自主的に来てくれたようなので、呼びかけし、教職員含めて関心と呼ぶことで環境教育に繋がるのではないかな。   |
| 石川会長 | 越知中学校も先生が引率してたくさん参加してくれた。今後も学校が協力してくれるように呼びかけを続け、並行して流域の学校に活動を周知するためにチラシを配布することも大切である。  |
| 井上委員 | 仁淀川町会場では、清掃活動では初めてパックテストを用いた水質検査を実施した。水質の違いを色で見ることが分かりやすく、家庭排水などの話も聞き、今後環境へ配慮するという気付きのきっかけになった。非常に良い取組である。次回は採水地点を変えてやってみてはどの意見もあるので、今後も続けてもらいたい。 |
| 石川会長 | 様々な切り口で川に関心を持つことが大切。<br>清掃や水質検査など、  |
| 山崎委員 | 例えば深夜に採水するなど、採水の時間を変えてみるのも面白い。  |
| 石川会長 | 6 月の第一日曜日に「身近な水環境の全国一斉調査」を実施しているが、採水は最も家庭排水が出る時間帯。深夜に採水した例はあまりないので、貴重なデータになるかもしれない。   |

## 平成 25 年度第 2 回仁淀川清流保全推進協議会 議事要旨

日時：平成 26 年 1 月 16 日（木）10:00 から 12:00

場所：いの町 かんぼの宿伊野 1 階 会議室

- |       |  |
|-------|--|
| 石川会長  | 懸念していることは、仁淀川町会場は町内で清掃箇所を増やしてはと<br>っており、越知町、佐川町は越知町、佐川町、仁淀川町合同で開催した<br>いと意見が分かれている。今後部会で協議していただきたい。出来れば<br>広がっていく方で進めていただきたいが、地元の意向が大切であるので、<br>見守っていききたい。 |
| 井上委員  | 仮に合同開催することになれば、何人かが他の会場のやり方を見る、と<br>いうことも勉強になるかもしれない。  |
| 中澤委員  | 25 年度は新設された日高村会場で 300 キログラムのゴミを回収している。<br>会場を増やすのも一つの方法ではないか。  |
| 石川会長  | 今後も工夫してもっと効果が上がる方法を皆で考えていきたい。<br>では、「議題 3 仁淀川シンポジウムについて」事務局より説明願いま<br>す。   |
| 事務局   | <資料により説明>  |
| 山崎委員  | 講師のかくまつとむ氏は宮崎弥太郎や森下雨村の「猿猴川に死す」に着<br>目しているので、面白いと思う。知名度があまり高くないので、周知の<br>仕方が難しい。  |
| 麻岡副会長 | かくま氏は仁淀川にも何度か来ている。   |
| 石川会長  | 平成 25 年 7 月 20 日に実施した「親子河口観察教室」にも取材で来てく<br>れて、子どもたちと遊んでいた。かくまさんがどのような人物なのかも<br>含めて周知していただきたい。  |
| 吉本委員  | 会場であるピアステージでは飲食、物販禁止としているが、併設施設と<br>の兼ね合いによる会場側の意向か。   |
| 事務局   | 会場自体は物販等は禁止ではないが、減免の対象ではなくなるので、今<br>回は物販等はやめ、活動報告の場とし、会場を安く借りるようにした。   |
| 石川会長  | 皆さん、周知のほど、お願いします。<br>では、「議題 4 第 2 次仁淀川清流保全計画の見直しについて」事務局より<br>説明をお願いします。   |

平成 25 年度第 2 回仁淀川清流保全推進協議会 議事要旨

日時：平成 26 年 1 月 16 日（木）10:00 から 12:00

場所：いの町 かんぼの宿伊野 1 階 会議室

事務局

<資料により説明>

石川会長

これから見直しの作業に取り掛かっていくが、「こんなポイントを色々な人に聞いてはどうか」といった意見があれば伺いたい。

麻岡副会長

見直しに入れてほしいことは、今までは環境に取り組んできたが、河川の内容について研究してもらいたい。例えば、一番の問題は砂利の採取による河川の荒廃である。荒廃を復元するような研究をしてもらいたい。

石川会長

川の中まで手を付けるのが難しい状況である。それをどうやって解決するか、皆さんの知恵を借り、勉強会や視察などを開催出来ればと思っている。

山崎委員

川は本来こうあるべき、ということを今の人は知らない。川本来の姿を再現した箇所を造ろうという気持ちが大事。

麻岡副会長

高知県は森林率 84 パーセントだが、広葉樹、落葉樹は 26 パーセント程度で、仁淀川流域では 16 パーセント程度。清流仁淀川を今後発展し、守っていくには手を入れていくということを盛り込んでもらいたいと思う。

石川会長

前途は困難であるが、水がきれいなだけで終わるのではなく、生態系が豊かな川ということが「第 2 次仁淀川清流保全計画」に入っているので、川本来の姿を皆で追及していくことが大事。  
山だけでなく、耕作放棄地の問題などもある。仁淀川流域全体で考えていかないと良くなっていかないと思う。様々な人と協力して、仁淀川のあるべき姿、全体像を出せたら良いと思う。

近澤委員

現在、川砂利の採取地点はどれくらいか。

麻岡委員

土佐市用石、いの町神谷、越知町の 3 箇所。業者は 6 社から 3 社。

井上委員

木質バイオマスだが、間伐材や未利用材で補えているうちは構わないが、今後需要が増え、皆伐が始まってしまうと、山が荒廃してしまう。バイオマスの利用拡大も大事だが、山の保全とのバランスが重要。

石川会長

このことは仁淀川流域だけでなく、高知県全体で考えなければならないので、他の流域や森林組合とも連絡を取り、常に関心を示していかなければならない。

## 平成 25 年度第 2 回仁淀川清流保全推進協議会 議事要旨

日時：平成 26 年 1 月 16 日（木）10:00 から 12:00

場所：いの町 かんぼの宿伊野 1 階 会議室

山崎委員

森林率 84 パーセントだが、植林が多い。植林を間伐すれば山の保全につながると思うので、そのようにしていければ。川、水質と言っているだけでは問題は収まらない。

吉永委員

森林の今の状況は戦後に植林した木が生長し、間伐を主体とした手入れが行われている。間伐をすれば日が差し込み、下草や広葉樹が生える。今は多様な山づくりに取り組んでおり、スギ、ヒノキの人工林だけでなく針広混交林の山にしていくところも出てくる。

また、今後、間伐が終わったところは主伐に移っていくことになるが、木の切り方を工夫したり、伐採した後は確実に植栽するなど、出来るだけ地表が露出しないような手立てが必要。

シカにより植栽した苗木が食害を受けるケースが増えているが、これは林業だけの問題ではなく、森林が不健全だと様々な分野に影響が及ぶことになるので、皆が関心を持って取り組んでいかないといけない。山の適切な管理は水質の保全にも繋がるので、その点を意識して取り組むことが大事。

石川会長

適切な森林管理は大事。我々も川の中を見ているだけでなく、上流山にも関心を示さないといけない。シカに関して、仁淀川は他の河川に比べて比較的少ないが、いつ流入してくるかわからないので、注視していく必要がある。

近澤委員

大渡ダムが出来て 40 年くらい。底には泥や石が相当溜まっているのでは。

安達委員代理  
高井委員

100 年くらいの土砂等の堆積を予測してダムを建設しているが、管理者に聞くと計画通りの堆積であるとのこと。

近澤委員

年間の降雨量は変わっていないと思うが、川幅は狭くなっている。大渡ダムの影響ではなく、針葉樹の影響が大きいと考えている。

40～50 年山の手入れをしているが、「高知おおとよ製材(株)」が出来たので、間伐材の需要が出てきた。今まで捨てていた木材をバイオマスや住宅用の材木として使用しないと山の保水力などが失われる。

また、製紙業界では、仁淀川の水を大量に使用している。排水の SS 値は 3～5 ppm である（高知県の清流保全条例の基準は 60ppm）。排水処理に伴うスラッジの処理が今後の課題。

## 平成 25 年度第 2 回仁淀川清流保全推進協議会 議事要旨

日時：平成 26 年 1 月 16 日（木）10:00 から 12:00

場所：いの町 かんぼの宿伊野 1 階 会議室

- |      |   |
|------|---|
| 石川会長 | 皆さんの貴重な意見は今後の計画見直しに反映させる上で役立たせたい。それでは「議題 5. 平成 26 年度のスケジュールについて」事務局より説明をお願いします。                                     |
| 事務局  | <資料により説明>今までの取組を継続して実施していきたい。<br><br>(質疑等特になし)  |
| 石川会長 | 「議題 6. その他」流域での取組について委員の方から何か。  |
| 事務局  | 事務局より、高知食糧(株)の清流保全パートナーズ協定に基づく助成事業、アサヒビール(株)の協定更新を報告。   |
| 中澤委員 | 仁淀川地域観光協議会はいの町観光協会の中にあり、様々なツアーを企画している。県外から多くのツアー客に来てくれている。県を挙げての観光政策に力を入れることが地域観光へ繋がっていくと考えているので、ご協力のほどよろしくをお願いします。 |
| 石川会長 | 県外の方がたくさん仁淀川を観光に来てくれているのはすごく良いこと。仁淀川という宝物を食い潰すのではなく、もっときれいにするという気概をもって協議会は進んでいきたい。                                  |
| 井上委員 | 地域観光協議会だけでなく、観光コンベンションでもツアーをやっている。多くの観光客が仁淀川に来てくれている。<br><br>(予定時刻となり仁淀川清流保全推進協議会を閉会した。)                            |